

様式 (第 8 条関係)

議 長	副 議 長	議 長	議 長	議 長	係
政務活動費に係る収入及び支出の報告書					印

令和 2 年 3 月 3 1 日

角田市議会議長 渡 邊 誠 殿

会派名 令和の風

代表者 菊 地 利 衛



角田市議会政務活動費の交付に関する条例第 8 条第 1 項に基づき、令和元年度政務活動費に係る収入及び支出について下記のとおり報告します。

記

1 収 入 政務活動費 60,000 円

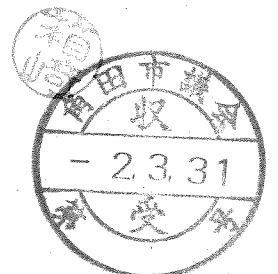
2 支 出 (単位：円)

項 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費		
研 修 費		
広 報 費	60,000	「令和の風」レポートVol.1 折込校正・印刷・新聞折込代
公 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
人 件 費		
事 務 所 費		
合 計	60,000	

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 残 額 0 円


4 経理責任者 菅 野 マ ホ





店舗 口座番号  
**004 0020707**  
 令和の風  
 会計 菅野 マホ 様

**普通預金通帳**



山南信用金庫

年月日	摘要	お支払金額	お預り金額	差引残高
1 1-10-10	新規		10,000	¥10,000*
2 1-10-10		10,000		¥0*
3 D 1-11-15	振込入金	60,000	60,000	¥60,000*
4 2- 3-30				¥0*
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

※証券等をご入金の場合は、所定日に積立と引付(抽付)を  
 印字します。  
 ※印刷しのできる日は、上記日付の年次となります。  
 ※印刷時に「A.D.」,「F.C.D.」印が「」のついた  
 数字については印字されません。

## 支 出 伝 票

				整理番号	1
会 派 名	令和の風				
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 公聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務所費				
実施年月日	令和 2年 3月 28 日	支出年月日	令和 2年 3月 28日		
支 出 金 額	20,460 円	按 分 率	100 /100	按分後の額	20,460 円
支 出 先	有限会社河北新報角田専売所				
使 途 内 容	令和の風レポート Vol.1 新聞折込代 (河北新報・毎日新聞・朝日新聞) 全6,200部				
備 考					
領収書添付欄					

### 領 収 書

No. 000243

令和の風

様

2年 3月 28日

金 額

¥ 20460

但 折込手数料 18600 円・消費税 1860 円

上記正に領収いたしました (10%)

収 入  
印 紙

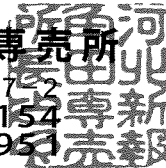
折込日	3/30 入れ
枚 数	6200 枚
備 考	

**(有)河北新報角田専売所**

角田市角田字泉町 137-2

電話 (0224) 63-3154

FAX (0224) 62-0951



ください。

## 支 出 伝 票

		整理番号	2		
会 派 名	令和の風				
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 公聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務所費				
実施年月日	令和 2年 3月 30 日	支 出 年 月 日	令和 2年 3月 30日		
支 出 金 額	3, 7 9 5 円	按 分 率	100 /100	按分後の額	3, 7 9 5 円
支 出 先	読売センター角田				
使 途 内 容	令和の風レポート Vol.1 新聞折込代（読売新聞・産経新聞・日経新聞）全1,150部				
備 考					
領収書添付欄					

領 収 証

令和の風

様

No. \_\_\_\_\_

★

73795

内 訳 \_\_\_\_\_ 但

現 金 \_\_\_\_\_

小 切 手 \_\_\_\_\_ /

手 形 \_\_\_\_\_ /

消費税額等( %) \_\_\_\_\_

新入会費 3/30付

2020 年 3 月 30 日 上記正に領収いたしました

収入印紙



所長 岡部崇哉

〒981-1505 宮城県角田市角田字旭町30-14  
TEL 0224(62)3434 FAX 0224(62)0866

コクヨ ウケ-98

ください。

様式第3号（第3条第2項第3号関係）

# 支出伝票

整理番号	3
------	---

会派名	令和の風				
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 研修費	<input checked="" type="checkbox"/> 広報費		
	<input type="checkbox"/> 公聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/> 会議費		
	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費		
	<input type="checkbox"/> 事務所費				
実施年月日	令和2年 3月30日	支出年月日	令和2年 3月30日		
支出金額	35,745 円	按分率	100 /100	按分後の額	35,745 円
支出先	株式会社あきは書館				
使途内容	令和の風レポートVol.1 印刷代 全1,150部				
備考	令和の風 不足分、30,255円は、自己負担。				

領収書添付欄

**77 BANK** キャッシュサービス  
ご利用控え

毎度ご利用いただきありがとうございます。

お取引種別	機番	処理番号	お取引日付
お振込	0134890	02-03-30	
銀行番号	ご預金店	科目・口座番号	ご利用店
			807
お取引額整数数		お取引額小数数	
万	千	百	十
006000000000	600000000000	000000000000	000000
時刻	手数料	お取引金額	
12:07	¥440	¥65,560	
おつり		* * * * *	
¥0			
手数料のうち振込手数料 ¥440 000085			
七十七銀行 二日町支店 普通 5552427 カ.アキハツヨカノ 様			
レイワノカセ 様			
電話番号 080-30211877			

※領収書は重ならないように  
ください。

ない場合は、裏面を使用して

## 広報・公聴活動実施報告書

令和 2年 3月 31日

角田市議会議長 殿

会派名 令和の風

代表者 菊地 利衛



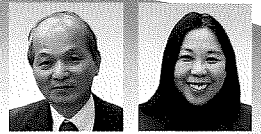
（又は実施代表議員名）

下記のとおり実施したので報告します。

広報公聴活動 の名称	阿武隈急行線、全線復旧支援と市民アンケート調査
開催日時・配付 日・掲載期間	令和 2年 3月 30日(月)～令和 2年 3月 31日(火) 午前・午後 時 分 ～ 午前・午後 時 分
開催場所・掲載 場所・配付場所	角田市内に新聞折込（河北新報・毎日・朝日・読売・産経・日経）
参加議員名 （派広報誌配付 ・ホームページ 作成委託の場 合は未記入）	菊地 利衛 菅野 マホ
参加者 配付部数	2人 ・ 7,350部
報告会・広報活 動の概要	FAXやメールにて、市民より阿武隈急行線への応援メッセージや、 利用促進に向けたアイデアを募集。  ・阿武隈急行線の情報は全くなかったもので、待っていた。 ・是非、がんばってほしい。  他、多数。

※当該活動に係る案内、要領等を添付してください。

※会派広報誌作成の場合は、作成した広報誌原本若しくはコピーを添付してください。



「令和の風」は、菊地利衛と菅野マホが立ち上げた新しい会派です。角田市政に新しい風を吹かせます！

### 緊急報告

## 阿武隈急行線全線復旧へ！！

角田市を襲った「台風第19号（令和元年東日本台風）」の被害は、1,500戸以上の家屋浸水や土砂災害など甚大な被害をもたらし、角田市の被害総額は100億円を超えました。亡くなられた方にお悔み申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。未だ爪痕が残る角田ですが、令和2年度は予定されていた事業を中断して、復旧事業に集中する計画となっております。角田市民の重要な足である「阿武隈急行線」も大きな被害を受け、現在も全線復旧に至っておりません。私たち市議会会派「令和の風」は、被災後、阿武隈急行線の復旧・復興の様子を追いかけてきました。又、丸森町議と連携し阿武隈急行本社にも数度訪問し、被災状況確認と、全線復旧に向けた要請をするとともに、議会として国、県に完全復旧を要望して参りました。



復旧作業（丸森町あぶくま駅付近 令和2年1月撮影）

#### 阿武隈急行被害状況

- ・被害箇所約50箇所（10箇所で工事が終了）
- ・被害額 約10億円
- ・丸森～富野間が不通

#### 【千葉社長からのメッセージ】

現在、阿武隈急行では、1日も早い全線での営業運転の再開に向け、関係機関と調整を図りながら、全社員一丸となって復旧に努めております。全線再開通の暁には、以前にも増して1人でも多くの方にご利用いただき、地域の重要な公共交通機関である阿武急をみなさんで応援くださるよう、今後ともよろしく願いいたします。

令和2年3月24日 代表取締役社長 千葉宇京

### インタビュー

の風：「阿武隈急行線の全線開通を期待していますが、現状はいかがですか？」

社長：「はい。その方向で進めています。工事の予定は、令和2年度末までですが、できるだけ早く、営業運転が再開できるようにがんばります。」

の風：「昼間（9:00～15:00台）の運転は、出来ないのですか？」

社長：「現在、車両のメンテナンスをJR東日本の利府操車場に委託しており、車両や乗員の手配が付かず、朝夕のみの運転になっています。仮復旧して回送列車が梁川まで走るようになれば増便が可能です。夏頃を予定しています。」

の風：「阿武急の利用状況はいかがですか？」

社長：「被災前の利用者（槻木～福島駅間）は、1日6,800人（内角田駅は約1,000人）でした。現在は60%の利用に留まっています。利用促進の為の新企画が待たれます。」

「令和の風」は、角田市の未来のために、また角田市の子のために「阿武隈急行は、福島そして仙台と繋がる必要が







書「じぞうもじ」：夕深

## みんなで阿武急を応援しましょう！

【ご意見・ご要望の送り先】

締切日：令和2年4月15日（水）

Eメールをご利用の方は、番号でお答えください。例：1-②



- ①FAX：(0224) 68-3020
- ②Eメール：sanmori138138@gmail.com
- ③角田駅・丸森駅をご利用の方は、駅備え付けの回収ボックスへ投函してください。

- あなたの年齢を教えてください（○で囲んでください）

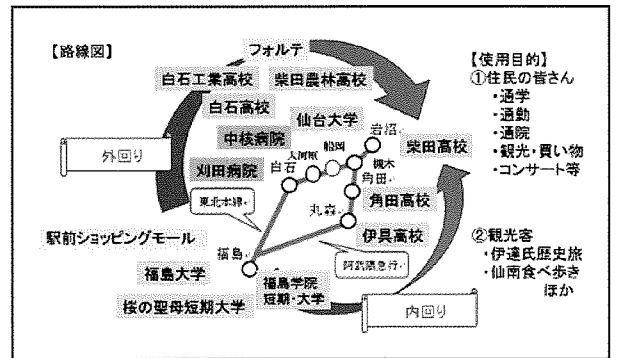
  - ①20歳未満
  - ②20歳以上～40歳未満
  - ③40歳～60歳未満
  - ④60歳以上
- あなたのお住まいを教えてください（○で囲んでください）

  - ①角田市内（角田・小田・横倉・枝野・藤尾・東根・桜・北郷・西根）
  - ②角田市外（丸森町・柴田町・大河原町・仙台・その他）
- あなたは、阿武隈急行線をどのくらい利用していますか（○で囲んでください）

  - ①1週間に4～5回以上
  - ②1週間に2～3日
  - ③1週間に1回程度
  - ④月に数回
  - ⑤年に数回
  - ⑥ほとんど利用しない
  - ⑦その他（ ）
- 利用する目的を教えてください（○で囲んでください・複数可）

  - ①通学
  - ②通勤
  - ③通院
  - ④買い物
  - ⑤観光
  - ⑥その他（ ）
- 阿武隈急行線の利用を高めるため、必要と思われる取り組みを教えてください。（○で囲んでください。複数可）

  - ①女性専用・学生専用車両を設ける
  - ②乗り換えなしで東北本線の船岡駅や大河原駅、白石駅などへ行ける循環線をつくる（右図）
  - ③仙台直通ダイヤを多くする
  - ④福島駅から仙台駅まで急行電車を走らせる
  - ⑤運賃を下げる
  - ⑥沿線の観光開発をする
  - ⑦主要駅までの公共交通を充実させる
  - ⑧駅前の開発を進める



②案 ぐるっと2時間、「仙南版の山手線」

みなさまのメッセージやご要望をお書きください。また、阿武急の利用促進に向けた斬新なアイディアも募集中です。

◆ 任意：お名前（ ）連絡先（ ）

みなさまのご意見は、阿武隈急行株式会社へお届けいたします。尚、自治体関係者とも連携の上、今後の阿武隈急行線の利用促進に、活用させていただきます。

ご協力を頂きありがとうございました。

